



“私の挑戦”

ビジネスプラン誕生の裏側

受賞企業紹介

第4回 チャレンジ部門 優秀賞 受賞

製造に関わる人々の“知恵”の結晶 “絹と綿”を使って履き心地を追求した 足袋型靴下「にっとたび」

プラン名
普段の暮らしの中で使用できる
「絹」を使ったニット製品シリーズ



会社員時代に、新しい戦略を掲げて挑戦する若手経営者の方々に会い、「私も実家の仕事を变えたい」と感じて、家業を継ぐ決心をしました。

当社は明治42年、京都西陣にて生糸卸売業を創業。時代とともに生糸から化学繊維、各加工製品の製造販売へと変遷してきました。現在は、静電気・ダスト除去が得意な精密機器に使える特殊ハイテク手袋「ミクロハynes®」が主要製品です。

転職後、「絹を使いたい」「ニットが人気だ」「京都らしい商品を作りたい」と考え、「絹の五本指靴下」を企画しました。工業用製品の製造・卸が多い当社にとって一般用製品の開発・製造は未知の世界でした。絹は糸業者さん、色は染物職人さん、編みはニットさん……とさまざまな方にアドバイスをいただきながら企画を進めてきました。また、ぼんやりとした企画を磨くために「知恵-1グランプリ」やクラウド

ファンディングに挑戦。「誰に・どのように売るのが」「なぜこの形なのか」「本当にやりたいビジネスなのか」と時に厳しい指摘を受け、絹を使った足袋型靴下「にっとたび」のビジネスプランが完成しました。「にっとたび」は、肌に触れる面に吸湿性と保温性に優れる絹を、そして表側に綿を使い快適な履き心地を実現しています。試作では絹の産地、糸の種類、編み方等さまざまな試みをしました。最も苦労したのは染色です。絹と綿という異なる素材を同じ色に染めるためにテストを繰り返し、こだわりの色展開が完成しました。

男女を問わず幅広い世代の方から注文をいただいております。「絹への入口」になる手軽な製品として大切に育てるとともに、今後はシリーズ化を目指して、他の素材や形の展開にも挑戦します。

ビジネスプランの詳細はこちら



京都商工会議所の販路開拓メニューや他の支援機関との連携を通じて、同社が進める「糸」を活用した新製品開発や販路開拓を応援します。